

真・善・美

令和4年9月22日
市川市立新井小学校
校長 海老原 澄子
学校だより9月号②



<http://www.arai-syo.ichikawa-school.ed.jp/> (新井小⇒検索)

★ 7月に行われた学校評価の結果

7月に行った学校評価の結果をお知らせします。今年度もインターネットでまたは紙面にて回答していただき、80%の回答率となりました。(12月にもう一度アンケートを行いますので、ぜひご参加いただけますようお願いいたします。) ご協力に感謝いたします。

また、保護者の方へのアンケートと同時期に児童にもアンケートを行い、児童の様子がつかめるようにしています。保護者の方への市内共通質問の平均値も出ました。あわせてご報告いたします。

今回の結果につきましては全職員で共通理解し、子どもたちが楽しく安心して学校生活を送れるように努めてまいります。

また、記述にてご意見をいただいたものについては、ホームページにて回答致しております。ご覧ください。

【考察】

「確かな学力」の向上

学習への興味・関心・意欲が、市川市の平均よりも低いです。また、家庭学習の取組についても昨年度の7月よりも7ポイントも下がっています。児童と保護者では20ポイントも差があり家庭学習についての意識の違いを感じます。学力テストの結果でも、各学年興味関心意欲の項目が平均よりも低くなっているため、学習への意欲をあげられるように家庭学習と合わせて、ご家庭と連携して取り組んでいきたいと考えています。また、朝学習等で基礎基本の定着にも努めてまいります。

「豊かな心」の育成

「学校が楽しい」が昨年度12月から5ポイント上がりました。90%を超えたのはコロナ禍になってから久しぶりです。児童アンケートでは低学年ほど肯定的評価が高くなっています。様々な校内行事が実施できることや友達関係や学級の雰囲気などに大きく関係していると思われます。後期も楽しく過ごせるように取り組んでまいります。

「健やかな体」の育成

ほぼ横ばいの結果です。コロナ禍になってから高い肯定的評価であった「衛生習慣が身についている」が少しずつ下がっていることが気になります。長い期間の感染防止対策の中で関心が低くなっているのかもしれませんが、「進んで体を動かす」ことについては実態として2極化が進んでいます。運動することは、子どもたちの成長に大切です。「遊・友スポーツランキングちば」への取組を活用し、運動への関心を高めていきます。

「信頼される学校」・ブロックの連携

すべての項目で肯定的評価が上がっています。昨年度からホームページの刷新やブログの更新に取り組んできました。成果として数値に表れてきて嬉しいです。これを励みに更に学校の取組を知っていただくためにホームページ・メール等を活用していきます。ご意見がありましたら教えていただくと嬉しいです。また、ブロック合同引き渡し訓練やブロック共通メールの配信を地域の学校と連携して進めてきました。後期から代表委員会の子どもたちを中心にオレンジリボンキャンペーン(いじめ撲滅)にも力を入れていきます。

		評価項目	保護者※1		児童※2	市平均※3
			R3.12月	R4.7月	R4.7月	R4.7月
確かな学力	1	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	87%	87%	93%	87%
	2	お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。	61%	60%	77%	64%
	3	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	72%	70%	91%	
	4	お子さんは、各教科の学習内容が身についている。	78%	78%	92%	74%
	5	お子さんは、読書が好きである。	58%	58%	78%	
豊かな心	1	お子さんは、学校が楽しいと感じている。	87%	92%	87%	
	2	お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。	75%	75%	81%	75%
	3	お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。	88%	85%	91%	87%
	4	お子さんは、誰とでも優しく関わっている。	91%	92%	87%	93%
	5	お子さんは、自然や生き物を大切にしている。	88%	91%	92%	
健やかな体	1	お子さんは、すすんで（外で遊ぶなど）体を動かしている。	72%	75%	74%	77%
	2	お子さんは、自らの安全（交通事故・けがなど）に気をつけて生活している。	88%	87%	89%	89%
	3	お子さんは、規則正しい生活習慣（睡眠・食習慣など）が身についている。	83%	82%	80%	85%
	4	お子さんは、衛生習慣（ハンカチの携帯、手洗いの習慣など）が身についている。	83%	81%	87%	
信頼される学校	1	学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めている。	79%	87%		87%
	2	学校は、保護者や地域の方々とともに、子どもを育てる取組を進めている。	76%	87%		87%
	3	学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している。	78%	87%		86%
	4	学校は、特色ある取組や教育を進めている。	65%	75%		76%
	5	学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている。	71%	77%		78%
ブロックの連携	1	学校では学習規律が保たれている。	81%	88%		
	2	学校は、積極的にオレンジリボンキャンペーン（いじめ撲滅運動）に取り組んでいる。	64%	74%		
	3	学校は、中学校区の幼稚園・小学校・中学校や地域と連携して教育活動を行っている。	66%	78%		
児童のみの項目	1	「あらいしょうがっこうのきょういくもくひょう」（あらいおんのむねにかいてあることばです）をしている。				88%
	2	じぶんには、よいところがある。				84%
	3	しょうらいの「ゆめ」や「もくひょう」をもっている。				83%
	4	じゅぎょうでは、じぶんの「かんがえ」や「おもい」をすすんで「はっぴょう」したり「ノートにまとめ」たりしている。				75%
	5	まいにちのしよくじは、すききらいなくたべている。				76%

※1：保護者698名中、560名回答、回答率80%

※2：児童698名中、642名回答、回答率92%、斜線部の代わりに「児童のみの項目」をアンケートに加えました。

※3：市川市内全39校（小学校38校、義務教育学校前期課程1校）の保護者アンケートの平均値

また、斜線部を除き、「評価項目」は市内共通です。